

毎週日曜発行
2024 1/21

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

ニュース も 教えて

見どころいっぱい冬の動物園

冬の動物園に行ったことはある？ 地球のさまざまな地域で暮らす動物が集まる動物園は、暖かい季節とは違った動物の行動や展示の工夫が見られるよ。仙台市八木山動物公園を取材しました。

「寒い地域出身の動物、日本に生息する動物は冬も元氣いっぱいです」。こう話すのは市八木山動物公園飼育展示課の高田頌子さんです。筆頭は中国やネパールの標高1500〜4000メートルの山岳地帯で暮らすレッサーパンダ。水をはじき、断熱効果のある体毛を持つので寒さはへっちゃら。雪の日も活発に木に登って遊んでいます。

サル山のニホンザルは、冬毛でふかふかの体を寄せ合い、暖を取る



「サル団子」や温水満喫

姿が見られます。おしくらまんじゅうのように5、6頭が集まって「サル団子」になることもあります。

動物園では寒さが苦手な動物も快適に過ごせるよう展示方法を工夫しています。アフリカゾウやキリンがいるアフリカ園の動物たちは、外にいる時間を短くし、暖かい屋内で過ごす様子を来園者に見てもらいます。

猛獣舎で暮らすライオンやスマトラトラの住まいには、お気に入りの岩場に床暖房を設置しています。南米出身のカピバラの家も冬仕様。室内にはヒーター、外のプールには温水を入れ、日中は湯気の立つお湯にのんびりと漬かっています。



冬眠するクマ、変温動物のヘビなどはどうしているのでしょうか。高田さんは「野生のツキノワグマやアナグマが冬眠するのはえさがなくなるから。動物園ではその心配がないので冬も起きています」と説明します。寒くなると動かなくなるヘビやトカゲですが、爬虫類館は暖房で温度管理をしているので、普段と同じ様子を見られるそうですよ。

夏より来園者が少ない冬の動物園はじっくりと観察できるのが魅力。とっておきの一枚を狙って写真を撮りに来る人も多いんだって。



冬の動物たち。(右上から時計回りに)元氣いっぱいのレッサーパンダ、暖を取るニホンザル、お湯に漬かるカピバラ、岩場に床暖房を入れたスマトラトラの住まい

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇25日(木) 石ノ森章太郎さん生まれる
1938年のこの日、登米市中田町に後の「漫画の王様」と呼ばれる石ノ森章太郎さん(～98年)が誕生。「仮面ライダー」「サイボーグ009」など、今も愛される多くの人気作を世に送り出しました。

ページの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 新幹線誕生60年